

平成20年2月25日

北総鉄道株式会社

代表取締役社長 亀甲 邦敏 様

北総線運賃問題対策協議会

会長 印西市長 山崎 山洋

千葉ニュータウン鉄道の線路使用料の見直しについて（要望）

拝啓

余寒の候、貴社いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴社が千葉ニュータウン鉄道株式会社に支払っている線路使用料につきましては、貴社と都市基盤整備公団の取決めがそのまま引き継がれているものと承知しております。線路使用料の具体的な条件については、「都市基盤整備公団が所有する北総・公団線（小室・印旛日本医大駅間）の鉄道事業の経営に関する基本協定」（以下、「基本協定」という）等において記載されておりますが、貴社が千葉ニュータウン鉄道株式会社へ支払う線路使用料の算定につきましては、小室駅から印旛日本医大駅までの運輸収入相当額が支払われるようになっており、貴社はこの区間から利益を上げられない状態になっております。千葉ニュータウン鉄道株式会社は、都市基盤整備公団が鉄道整備に要した約400億円と比較すると割安の193億円で施設を譲り受けている（うち、43億円は千葉県の支援）という事実を踏まえると、貴社の収益改善と経営安定化を図るためにも、当協議会としては、線路使用料の引下げがなされるべきであると考えております。また、基本協定等では、鉄道施設等の使用期間は平成20年3月31日までであり、期間満了の一ヶ月前までに変更の意思がない場合は、これを10年間継続するとも記載されております。

以上を踏まえ、早急に千葉ニュータウン鉄道株式会社と協議を行い、線路使用料の算定について見直しを図っていただけるよう要望いたします。

かかる千葉ニュータウン鉄道株式会社の線路使用料の見直しに加え、これまでに貴社に要望させていただいている事項を踏まえ、早期に北総線の運賃値下げを実現していただきますよう、よろしく申し上げます。

敬具